

PGM—E Pressure Transducer INSTRUCTION MANUAL

Thank you for purchasing this KYOWA product. Before using it, read this instruction manual carefully. Also, keep the manual within easy reach so that you can refer to whenever necessary.

Specifications and dimensions described in this manual could be changed without notice. Please visit our website for the latest version.

1. Calling the operator's attention

The following cautionary symbols and headlines are used to invite the operator's attention. Be sure to observe the accompanying precautions in order to safeguard the operator and preserve the performance of the instrument.

	Warning	Improper handling can cause serious injury to the operator
	Caution	Improper handling can cause deleterious effects to the operator's body
Caution		Cautions are given to invite the operator's attention, in order to avoid instrument failure or mal-function.

2. Important notice

Unless specified, the transducer must not be used under hydrogen environment.

3. Safety precautions

Warning

- Avoid pressure in excess of the allowable overload rating, or the instrument can explode.
- Avoid contact of a projecting object with the sensing surface, or the latter may crack to result in the transducer's explosion.
- Use the specified tightening torque. Improper tightening torque may cause the transducer's explosion.
- If excessive pressure could possibly occur, provide protective casing around the transducer installation, in order to safeguard the operator.
- Select sufficiently strong material for mounting screw hole.

Caution

- Dismount the transducer only after the applied pressure has been completely removed.
- SUS630 (JIS G4303) is used where the transducer contacts a liquid (With the PGM-10KE and 20KE use two types of materials SUS630 and SUS304). Avoid application of the transducer to a corrosive liquid or gas.

4. Handling precautions

Caution

- Do not disassemble the transducer.
- Take care to avoid damage to the liquid-contacting part and screw.
- Protection code is IP64. It should not be used underwater.
- No condensing. If it formed condensation, immediately dry.
- Do not bend the cable at its outlet.
Make sure that the bending radius of cable is longer than 6 times of a diameter of the cable.
- In vibration environment, fix the cable at its outlet and required portions.

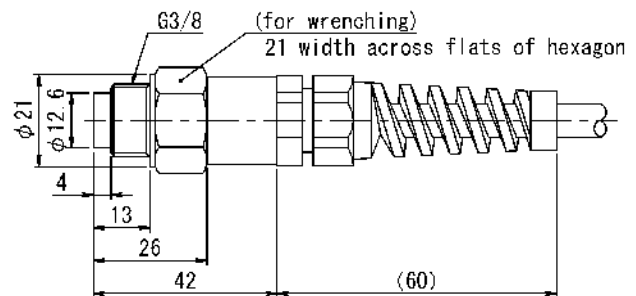
- If the rising time of the dynamic phenomenon to be measured is short, the total response including the transducer and measuring instrument in use may be problem.
Before measurement, check their specifications.

5. Installation

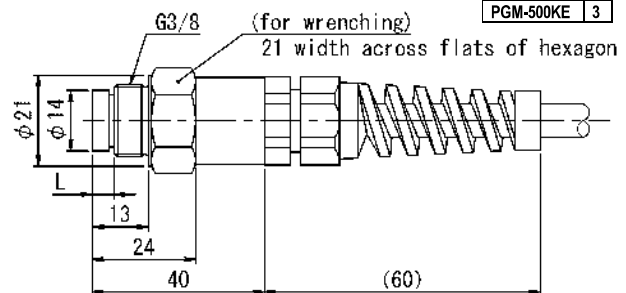
- 5.1** Using a gasket, mount the transducer. Apply your spanner to the spanner rest on the connecting screw section (Flat to flat 21) or the transducer may be damaged. Also, turn the cable together to protect the cable from damage due to twisting.

• Recommended tightening torque: 50N·m

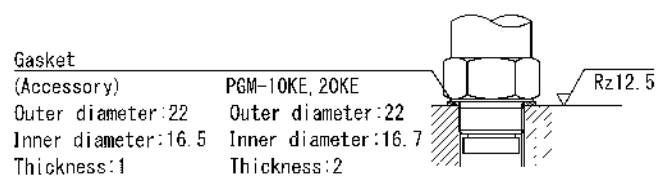
PGM-10KE, 20KE



PGM-50 to 500KE



Models	L
PGM-50KE	5
PGM-100KE	5
PGM-200KE	4
PGM-500KE	3



- 5.2** Use a new gasket.

- 5.3** Mount the transducer possibly closest to the pressure source.

- 5.4** When conduit is used, install a cock or valve between the conduit and connection portion to easily mount and demount the wire conduit.

PGM-E型 圧力変換器－取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前には、本書を必ずお読みください。また、お読みになったあとはいつでも見られるところに必ず保管してください。

本書に記載の仕様・外観は予告なく変更させていただく場合があります。最新情報は弊社ホームページをご確認ください。

1. 取扱説明書中のマークについて

ご使用になる方の安全確保に関する重要な事項や機能確保に関する事項にはマークをつけて記載していますので、必ずお読みください。

	警告	取扱を誤った場合、人体に重大な悪影響を及ぼす恐れがあります。
	注意	取扱を誤った場合、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。
注意		故障しないようにするための注意や正しく動作させるための注意を記載しています。

2. ご使用に際しての重要な注意

本製品は、水素環境下ではご使用できません。

3. 安全上のご注意

	警告
● 許容過負荷を超える圧力をかけないでください。破裂する恐れがあります。 ● 受感部に突起物をあてないでください。傷がつき破裂する恐れがあります。 ● 指定された締め付けトルクで使用してください。締め付けトルクが適正でないと破裂する恐れがあります。 ● 予測できない過大圧力が負荷される恐れがある場合は、周囲に保護ケースを設置し、安全を確保してください。 ● 取付けねじ穴部の材質には十分な強度のあるものを選定してください。	

	注意
● 取外しは圧力が完全に解放されていることを確認してから行ってください。 ● 接液部の材質は SUS630 (JIS G4303) を使用しています。(PGM-10KE, 20KE は SUS630 と SUS304 の2種類を使用しています。) 本材質が腐食する恐れのある液体、気体には使用しないでください。	

4. 使用上のご注意

注意
● 変換器を分解しないでください。 ● 受圧面、ねじ部等に傷を付けないでください。 ● 保護等級は IP64 です。水没させての使用は出来ません。 ● 変換器を結露させないでください。結露した場合は速やかに乾燥させてください。 ● ケーブルを引き出し口付近で強引に曲げないでください。ケーブル曲げ半径は、ケーブル外径の6倍以上としてください。 ● 振動環境下で圧力変換器を使用する場合は、圧力変換器のケーブル引き出し口付近でケーブルを固定し、振動止めを施してください。

- 動的現象での立ち上がり時間が短い場合は、変換器と測定器を含めた応答性が問題になります。各々の応答性を確認の上ご使用ください。

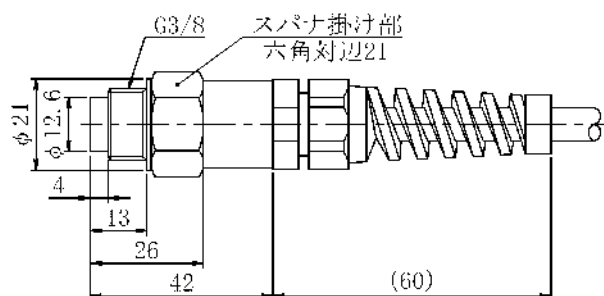
5. 取付け

- 5.1 付属のガスケットを使用し、本体のスパナ掛け部を利用して取付けます。他の部分にスパナを掛けると変換器を破損させる恐れがあります。

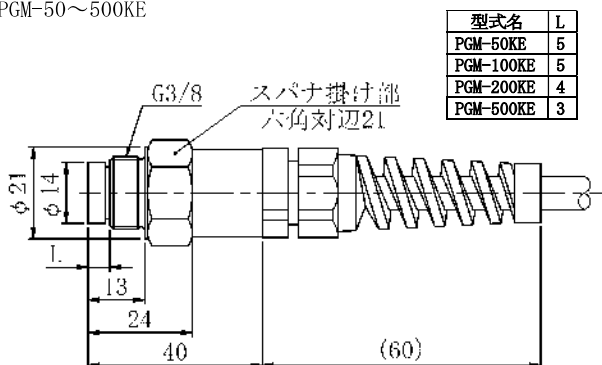
ケーブルがねじれて断線しないよう、ケーブルも一緒に回してください。

- ・推奨締め付けトルク：50 N・m

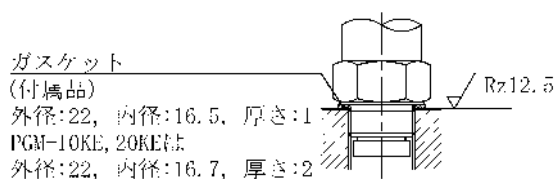
PGM-10KE, 20KE



PGM-50～500KE



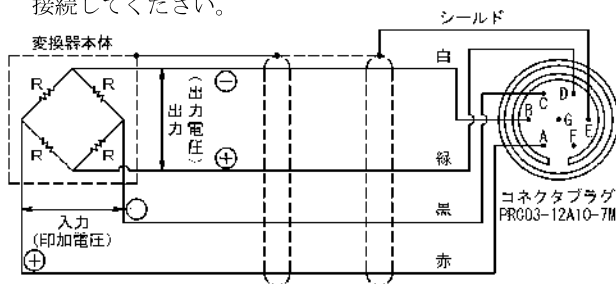
型式名	L
PGM-50KE	5
PGM-100KE	5
PGM-200KE	4
PGM-500KE	3



- 5.2 ガスケットは新しいものを使用してください。
- 5.3 できるだけ圧力源に近い場所に変換器を取付けてください。
- 5.4 導管がある場合は、導管との接続部にコックかバルブを設けて取り外しが簡単に出来るようにすると便利です。

6. 接続・測定

- 6.1 変換器をひずみ測定器に接続します。
- 6.2 弊社以外のひずみ測定器を使用される場合は、コネクタプラグへの配線は下図のようになっていきますので確認のうえ接続してください。



シールドは本体に接続されています。

- 6.3 ヒートランを5分以上行ってから、測定を開始してください。

7. 換算

- 7.1 換算には検査成績書の校正係数を使用します。
- 7.2 ひずみ測定器を使用する場合は、出力値が ε ($\times 10^{-6}$ ひずみ)で表示されます。1 ($\times 10^{-6}$ ひずみ)に相当する圧力が検査成績書に記入されていますので、乗算により圧力が求められます。

$$\text{圧力 (Pa)} = \text{ひずみ測定器の出力 } \varepsilon \text{ (} \times 10^{-6} \text{ひずみ)} \times \text{校正係数 (Pa/} 1 \times 10^{-6} \text{ひずみ)}$$

- 7.3 その他の増幅器、記録器を使用する場合は、ブリッジ印加電圧を正確に計ることが必要になります。ブリッジ印加電圧1 (V)を加えたときの出力電圧1 (μ V)に相当する圧力が検査成績書に記入されていますので乗算により圧力が求められます。

$$\text{圧力 (Pa)} = \frac{\text{ブリッジ出力電圧 (} \mu \text{V)}}{\text{ブリッジ印加電圧 (V)}} \times \text{校正係数 (Pa/} 1 \mu \text{V/V)}$$

変換器のケーブル延長による感度低下

ひずみゲージ式変換器とシグナルコンディショナ、変換器用デジタル表示器、ひずみ測定器などを接続して使用する測定で、ケーブルを延長する場合、延長するケーブルのもつ抵抗値により生ずる感度低下は無視できなくなります。これは、ケーブル抵抗値により変換器に加わる電圧（印加電圧）が低下するためです。

感度低下後の定格出力 (ε_0) は

$$\varepsilon_0 = \left(\frac{R}{R + (r \times L)} \right) \times \varepsilon_i$$

R: 変換器の入力抵抗値 (Ω)

r: 延長するケーブル1 mあたりの往復の抵抗値 (Ω /m)

L: 延長するケーブル長さ (m)

ε_i : 検査成績書に記載されている定格出力より求められます。

8. 保管上の注意および点検

- 8.1 ケーブル末端のコネクタプラグには水、ゴミ、油などがつかないようにしてください。
- 8.2 年1回程度の再校正をお勧めします。（弊社にお申し付けください）
- 8.3 初期値、指示値が異常と思われる場合は、入力抵抗、出力抵抗、回路（コネクタプラグのピンA～Dのいずれか）と本体間の絶縁抵抗（100M Ω 以上）を測定してください。異常があれば本器の故障と考えられます。弊社営業までご連絡ください。

注意

- 絶縁抵抗を測定する場合、絶縁抵抗計の印加電圧は50V以下で行ってください。

9. 仕様

型式名	定格容量	固有振動数 (約)
PGM-10KE	1MPa	22kHz
PGM-20KE	2MPa	23kHz
PGM-50KE	5MPa	46kHz
PGM-100KE	10MPa	60kHz
PGM-200KE	20MPa	73kHz
PGM-500KE	50MPa	80kHz

◆性能

定格容量	上記表参照
非直線性	$\pm 1\%R_0$ 以内
ヒステリシス	$\pm 1\%R_0$ 以内
繰り返し性	1% R_0 以下
定格出力	1mV/V (2000 $\times 10^{-6}$ ひずみ) 以上 500KE は 1.4mV/V (2800 $\times 10^{-6}$ ひずみ) 以上

◆環境特性

許容温度範囲	0 $\sim$ 80 $^{\circ}$ C
温度補償範囲	0 $\sim$ 60 $^{\circ}$ C
零点の温度影響	$\pm 0.1\%R_0/^{\circ}$ C 以内
出力の温度影響	$\pm 0.1\%/^{\circ}$ C 以内

◆電気的特性

許容印加電圧	5V AC または DC
推奨印加電圧	1 $\sim$ 3V AC または DC
入力抵抗	120 $\Omega \pm 2\%$
出力抵抗	120 $\Omega \pm 2\%$
ケーブル	0.3mm ² , 4心シールドクロロブレン 3m, 外径 7.6mm, 先端コネクタプラグ PRC03-12A10-7M (シールドは本体に接続されています)

◆機械的特性

許容過負荷	150%
固有振動数	上記表参照
材質	本体部: ステンレス鋼 接液部: SUS630 (10KE, 20KE は SUS630 と SUS304 の2種類)
質量	約 65g (ケーブル含まず)
保護等級	IP64 (JIS C0920)
取付ねじ	G3/8 おねじ
適合指令	RoHS 指令 2011/65/EU, (EU) 2015/863 (10 物質)

(注) RoHS 指令対応品は、CE マークの表記付き製品に限ります。

◆付属品

ガスケット (軟銅)	3 個
検査成績書	1 部
取扱説明書	1 部 (本書)